



四季彩

八景中学校だより
2021. 3. 16
第 15 号
三田市立八景中学校

ご卒業おめでとうございます

昨日から式練習も始まり、「卒業なんだ」という実感が徐々にわいてきたのではないのでしょうか。また、寂しさを感じている人も多いだろうと思います。4月7日の始業式以降、緊急事態宣言発出による臨時休校、6月1日からの分散登校を経て、6月15日からようやく全校生徒そろって過ごすことができました。今日までいろんな思いを抱えつつ、とにかく前を向いて進んできたきみたちの頑張る姿に、毎日元気をもらいました。本当にありがとう。

ここで、きみたちと過ごした日々を振り返ってみましょう。



臨時休校中 5月29日の登校日に合わせて、全校生徒に向けてメッセージを考えてきてくれました。「今できること」「今やらないといけないこと」を呼びかけポスター、全校放送、八景版手洗いの歌などで訴えました。

部活動再開 6月16日から、待ちに待った部活動再開。学校のあちらこちらにいきいきとした姿が返ってきました。1週間後には、1年生の仮入部も始まり、自分のことだけではなく、かわいい後輩に優しくかかわってくれていましたね。運動部は総体がなくなったけれど7~8月に代替大会が開催され、3年間の活動にピリオドを打ちました。文化部は、10月の定期演奏会、11月の文化祭まで学習と両立しました。

体育大会 9月4日、「一蓮托生～友と共に尽き進め～」の大会スローガンのもと開会式を行いました。「私たちはこの状況の中で体育大会ができること、そしてこれまで支えてくださった先生方、家族、仲間感謝し、八景中学校の新しい体育大会の伝統を築いていくことを誓います。」という選手宣誓が忘れられません。



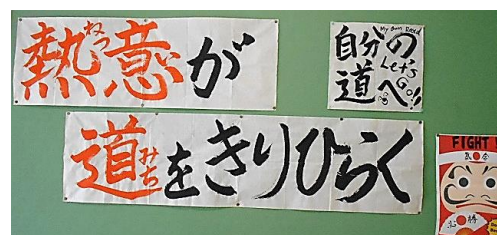
修学旅行 10月9~11日、滋賀・三重方面へ。文字通り「Good memorial Forever～すべての瞬間に価値がある～」となりました。甲乙つけがたくどのプログラムが一番とは言えませんが、2日目夜のレクリエーション大会、おもろかった～！

八景ミニオリンピック2020 10月21日、E.T.パークがやってきました。NiziUのダンスも見られました。聖火リレー・部活動リレー・クラス対抗の催しがありました。優勝クラスはキューブがもらえました。



文化祭 11月3日、文化祭の合唱に感動。横一列に並んでの合唱は、とても歌いにくかったと思います。それでも、さすがは3年生。本当に素晴らしい八景中のリーダーたちでした。「My page～刻み込もう心の記憶に～」♪ 未来へ続く風にのせて1つ1つの思い出を刻み込もう心の記憶に

進路に向けて 文化祭以降は、進路選択・懇談・受験に向けて一直線。心が揺れ動き、進路に悩む日々の始まり。テストの結果に一喜一憂。仲間からの励ましがうれしかった。志望校に向けて猛勉強。家族の支えが心にしみた。そして、受験。全力



を出し切り頑張りました。

中学校生活はどうでしたか？(1・2年生も、この機会に一年間を振り返ってみてください。)楽しいことばかりだったかという、決してそうではなかったでしょう。苦しいことや辛いこと、しんどいときや悲しいとき、それぞれの苦難があったと思います。その苦難を乗り越えるたびに、人間にも「節(ふし)」ができるのです。それを節目といいます。竹にも節がありますね。節があるから雪の重さに耐えられるしなやかな強さがあるのです。中学校卒業、あるいは学年が上がるこの時期を節目に、さらに成長してくれるよう願っています。

人生はマラソンに例えられることがよくあります。人生のゴールを90歳と考えてみると、(2050年頃には、平均寿命100歳も夢ではないと言われていますが……)中学校卒業までの15年間は、42.195kmのフルマラソンのうち、わずか7kmあまりです。まだまだこれから上り坂もあれば下り坂もある。そして、美しい景色も見られるのです。若いみんなには無限の可能性が 있습니다。その可能性を信じて、与えられた場所で一所懸命に努力を重ねてください。

明日、3年生の皆さんは中学校の教育課程を修了し、八景中学校を卒業します。卒業おめでとうございます。また、小学校から9年間の義務教育を終え、4月からはそれぞれの進路先で新たな生活をはじめることになります。これまでに学んだことを活かし、これからの自分の人生を切り拓いてください。

3年生の保護者の皆様

3年生の保護者の皆様、いよいよお子様のご卒業の日がやってまいりました。明日の卒業式への参加は、たいへん心苦しいのですが感染対策として一家庭一人でお願いしております。厳粛な中にも温かく思い出に残る式になりますよう、私たち教職員も誠心誠意取り組んでまいります。保護者の皆様には、これまで本校教育ならびにPTA活動にご理解とご協力をいただきましたこと、深く感謝いたします。お子様が卒業されましても、地域のおひとりとして、八景中の生徒を温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

卒業するきみに贈る詩

無限の可能性を信じて、次のステージでも頑張ってください。

卒業式

谷川俊太郎

ひろげたままじや持ちにくいから
きみはそれをまるめてしまう
まるめただけじゃつまらないから
きみはそれをのぞいてみる
小さな丸い穴のおむこう
笑っているいじめっ子
知らんかおの女の子
光っている先生のはげあたま
まわっている春の太陽
そしてそれらのもっとおむこう
星雲のようにこんとんととして
しかもまぶしいもの
教科書には決してのってはず
蛍の光で照らしても
窓の雪ですかしてみても
正体をあらわさない
そのくせきみをどこまでも
いざなうもの
卒業証書の望遠鏡でのぞく
きみの未来

